第３学年１組　国語科「はたらく犬について調べよう『もうどう犬の訓練』」

ズバリ知りたい！「はたらく犬　なるほどパズル」

指導者　　大山　陽子

１　単元設定の理由

○　本単元は，小学校学習指導要領第３学年及び第４学年の「Ｃ読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には，以下のように示されている。

> (1) エ　目的や必要に応じて，文章の要点や細かい点に注意しながら読み，文章などを引用したり要約したりすること。
> カ　目的に応じて，いろいろな本や文章を選んで読むこと。

単元構成図

ズバリ知りたい！「はたらく犬　なるほどパズル」

	活動の内容	学習目標
第一次	「もうどう犬の訓練」を読み，「なるほどパズル」を作りながら，大事な言葉や文を見つけ，書いてある内容を短くまとめながら読み取る。	盲導犬の訓練や心構えについて，大事な言葉や文章を見つけ，書かれている内容を短くまとめながら読み取ることができる。
第二次	人の役に立つ働く犬について本などで調べる。 得た情報を「はたらく犬　なるほどパズル」にまとめる。	学習したことを生かして，多読で得た情報を要約しながら「はたらく犬　なるほどパズル」にまとめることができる。
第三次	「はたらく犬　なるほどパズル」を友達に紹介し，意見交流をする。	友達の「はたらく犬　なるほどパズル」を，自分の作品との違いを考えながら読み，自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

○単元観

本単元は，人の役に立つ働く犬（盲導犬，聴導犬，介助犬，災害救助犬，警察犬，セラピー犬など）について書かれている本や資料について読み，「なるほどパズルにまとめよう」という活動を通して，大事な言葉や文章を見つけ，書かれている内容を短くまとめながら読み取る力を育てることをねらいとしている。

本単元では説明文「もうどう犬の訓練」を扱う。児童にとって身近で日頃から触れ合うことの多い犬を，「ペット」とは異なる「働く犬」として取り上げている。盲導犬として一人前になるまでの訓練の内容や，根気強く繰り返し指導される訓練士の方の取り組みについては，児童はほとんど知らないであろう。この文章は，段落のまとまりが明確であり，話題提示（盲導犬の定義）→説明（訓練の様子・心構え）→まとめというように，文章の全体構造が分かりやすくなっている。また，訓練の内容が示された後，具体的な事例が述べられており，訓練の意味を理解しながら読み進められるようになっているので，文章の要点や細かい点に注意して読むという読み方が身に付くことが期待できる。また，見つけた大事な言葉や文を使いながら，書かれている内容を短くまとめて要約することに慣れさせるためには，スペースが限られていて，調べたいことに対する答えがぴったり合致する形式になったパズルにまとめる活動が適しているといえる。

さらに，教材文での読みを生かし，盲導犬以外の人のために働く犬について関連した他の本や文章を読み広げ，資料収集を行わせることは，目的に応じた読書を積極的に行い，児童の読書生活が豊かになることにつながると考える。

以上のことから，本単元において，人の役に立つ働く犬について，「はたらく犬　なるほどパズル」にまとめるという学習活動を取り入れることにより，大事な言葉や文章を見つけ，書かれている内容を短くまとめながら読み取ることができると考える。

○児童観

本学級の児童（19 名　男子 12 名，女子 7 名）は，国語の学習に対して意欲的な児童が多く，児童アンケートでは『国語が好き』と 84%（16／19）の児童が回答している。その理由としては「お話を読むのが楽しい」「いろいろな答えがあるのがおもしろい」などが多かった。また読書が好きな児童が多く，時間があれば本を読む姿が多く見られ，読む本の種類も幅広い。日常の読書活動と国語科の学習が自然に結びつき，楽しみながら学習に取り組む姿勢ができていると考える。６月の「段落に気をつけて読もう」の学習では、中心となる語や文をとらえながら形式段落ごとの内容をパズルのピースに短くまとめる学習を行った。繰り返し出てくる言葉や文をとらえ，段落ごとに内容を正しく読み，パズルのピースにまとめることができた児童は，89%（17／19）であった。授業で学んだ文章については，しっかり読み取ることができていた。しかし，初めて読む説明的な文章においては，形式段落の中で一番大切なことを書いてある段落を見つけ出すことができた児童は 68%（13／19）で，それを適切に要約できた児童は 42%であった。また，文章の中の接続語や指示語や題名と関連する表現に注目して読むことができた児童は 47%（９／19）であった。

これらのことから，児童は，段落ごとに書かれている内容を正しく読み取ることに課題がみられる。段落ごとの内容を短くまとめるために，繰り返し出てくる言葉等の大事な言葉に注目しながら読んだり，指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割に気付いて読んだりすることにおいて，十分ではない。

○指導観

指導に当たっては，「『はたらく犬　なるほどパズル』にまとめる」という言語活動を設定し，「もうどう犬の訓練」を内容のまとまりごとにパズルの小さなスペースに短くまとめ，書きためていく。そうすることで，内容の要素の関係性や文章全体の構成に気付かせる。また，知りたいこと（疑問）とその答えをパズルのピースに見立てたワークシートに書く。それを組み合わせることにより，大事な言葉や文を押さえ，書かれている内容を短くまとめながら読み取る力を培う。最終的には児童がそれぞれの疑問に応じた本や文章から答えを要約し，「はたらく犬　なるほどパズル」にまとめるように単元を構成する。ねらいに基づき，次の３点において工夫して学習を進める。

第一に，人の役に立つ働く犬はどんな犬がいるか例を挙げて，単元の学習活動に対する児童の興味関心を喚起し，読む意欲を高める。また，市立図書館から関連読書を借り，教室に「『人の役に立つ働く犬』コーナー」を設けて，児童が本に触れる機会が多くなるような環境を整える。

第二に，教材文「もうどう犬の訓練」を用い「もうどう犬　なるほどパズル」にまとめる際には，大事な言葉や文を取り出して短くまとめる要約の仕方を習得させる。まず，盲導犬の訓練の内容について，「一さいになると」「さいしょは」「次は」など順序や時期を表す言葉に着目して読み取る。その後，「盲導犬の役割と人間との関わり」や「盲導犬としての能力と心構え」について，答えとなる言葉や文を本文から見つけ出し，パズルのピースに簡潔にまとめさせる。教材文を通して身に付けた読みの力をそれぞれの「はたらく犬　なるほどパズル」に生かすことができるようにする。

第三に，「はたらく犬　なるほどパズル」にまとめる際には，その犬の何についてまとめるのか，観点をはっきりさせるため，「もうどう犬　なるほどパズル」で使った疑問を記述したピースを参照させる。その答えを探して本等を読む際には，資料となる本や文章の中から大事な言葉や文に付箋を貼らせ，メモできるワークシートを用意する。また，大事な言葉に着目するように指導し，児童が資料の中の言葉を省いたり，書き換えたりして短くまとめることができるようにする。完成したパズルをペアやグループで交流し，自分の知りたいこと（疑問）として挙げたことと，調べてまとめた文章とが対応しているかどうか，確認させる。

2　単元の目標

○　「はたらく犬　なるほどパズル」をつくることに興味を持ち，人の役に立つ働く犬についての本や文章を進んで読もうとしている。　【国語への関心・意欲・態度】

◎　文章の要点や細かい点について注意しながら読み，書かれている内容を要約することができる。　【読むこと　エ】

○　人の役に立つ働く犬について知りたいことを，色々な本や資料で調べながら読むことができる。　【読むこと　カ】

○　指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し，使うことができる。　【言語についての知識・理解・技能　イ（ク）】

3　単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	○「はたらく犬　なるほどパズル」をつくることに興味をもち，人の役に立つ働く犬についての本や文章を進んで読もうとしている。	◎文章の要点や細かい点について注意しながら読み，書かれている内容をパズルに要約している。 ○人の役に立つ働く犬について知りたいことを，色々な本や資料で調べながら読んでいる。	○人の役に立つ働く犬の文章を，指示語や接続語に着目しながら，文相互や段落相互の関係をとらえて読み取ったり，指示語や接続語を適切に使って「はたらく犬　なるほどパズル」を書いたりしている。

4　指導計画（全11時間）

次	学習活動	めざす児童の姿	評価規準（評価方法）
一	人の役に立つ働く犬について知っていることを発表し合い，学習課題を作る。（1） ズバリ知りたい！「はたらく犬　なるほどパズル」	**人の役に立つ働く犬は，盲導犬などいろいろな種類があることが分かりました。盲導犬は，目の不自由な人を助ける犬です。**	○　人の役に立つ働く犬について興味をもち，進んで調べようとしている。 【関・意・態】（行動観察，ノート）
	文章の要点や細かい点に着目しながら，形式段落④～⑧の内容を短くまとめ，人の言うことに従う訓練について読み取る。（1）	**一才になると，さいしょに命令の言葉を覚えて，そのとおりにできるようになる訓練をします。**	○　文章の要点や細かい点について注意して形式段落④～⑧の内容をパズルのピースに短くまとめながら，人に従う訓練について読み取っている。 【読む】（ワークシート）
	文章の要点や細かい点に着目しながら，形式段落⑨～⑫の内容を短くまとめ，人を安全に導く訓練について読み取る。（1）	**ハーネスをつけて，あぶないものの前で止まったり，それをよけて進んだり，使っている人にとってきけんな命令にしたがわないことを覚えます。**	○　文章の要点や細かい点について注意して形式段落⑨～⑫の内容をパズルのピースに短くまとめながら，人を安全に導く訓練について読み取っている。 【読む】（ワークシート）
	文章の要点や細かい点に着目しながら，形式段落⑬⑭の内容を短くまとめ，もうどう犬にふさわしい心構えについて読み取る。（1） （本時４／11）	**もうどう犬になるためには，訓練を通して，仕事中にはどんなことがあっても動物としての特長をおさえて，目の不自由な人を安全に導くための心がまえを身に付けていくことが必要です。**	○　文章の要点や細かい点について注意して形式段落⑬⑭の内容をパズルのピースに短くまとめながら，もうどう犬にふさわしい心構えについて読み取っている。 【読む】（ワークシート）
	文章の要点や細かい点に着目しながら，形式段落⑮⑯の内容を短くまとめ，一人前になった盲導犬のくらしについて読み取る。（1）	**一人前になったもうどう犬は，八年から十年ぐらい，目の不自由な人の体の一部であり，心の通う家族として暮らします。**	○　文章の要点や細かい点について注意して形式段落⑮⑯の内容をパズルのピースに短くまとめながら，一人前になった盲導犬のくらしについて読み取っている。 【読む】（ワークシート）

二	自分の課題を決め，人の役に立つ働く犬について書かれてある本を読んだり，インターネットで検索したりする。　（2）		○　自分の学習課題に関連する本を探し読もうとしている。 【関・意・態】（行動観察） ○　人の役に立つ働く犬の文章を，指示語や接続語に着目しながら，文相互や段落相互の関係をとらえて読み取っている。 【言語】（行動観察，ワークシート）
	得た情報を「はたらく犬　なるほどパズル」にまとめる。（2）	**○○犬は，～訓練をします。例えば，△△をします。 ○○犬になるためには，…のような心がまえが大切です。例えば，□□はしてはいけません。**	○　文章の要点や細かい点について注意しながら読み，書かれている内容をパズルに要約している。 【読む】（行動観察，ワークシート） ○　指示語や接続語を適切に使って，「はたらく犬　なるほどパズル」を書いている。 【言語】（ワークシート）
	自分の作った「はたらく犬　なるほどパズル」を推敲する。（1）	**○○犬は，～訓練をします。例えば，△△を覚えたら，次は□□を覚えて，人を助けるために～します。**	○　学習したことを生かして要約できているか読み直し，推敲している。 【読む】（行動観察・ワークシート） ○　指示語や接続語を適切に使って，「はたらく犬　なるほどパズル」を書いている。 【言語】（ワークシート）
三	「はたらく犬　なるほどパズル」を友達に紹介し，意見交流をする。　（1）	**○○犬は，～のような訓練をして，人の役に立って働くことが分かりました。 ○○犬になるためには，…のような心がまえが大切だと思いました。○○犬の本を読んでみたいです。**	○　友達の「はたらく犬　なるほどパズル」と自分の作品との違いを考えながら読み，自分の考えを広げたり深めたりしている。 【読む】（ワークシート，行動観察）

5　本時の展開

(1)　本時の目標

○　盲導犬にふさわしい心構えを，叙述から読み取り，パズルのピースに短くまとめることができる。

(2)　観点別評価規準

○　盲導犬にふさわしい心構えを，叙述から大事な言葉や文章を見つけながら読み，短い言葉でパズルのピースにまとめている。　【読む能力】

(3)　準備物

「もうどう犬　なるほどパズル」のワークシート，黒板掲示用カード，盲導犬の写真資料

(4)学習の展開

学習活動	指導上の留意点（○）と支援（◆）	評価規準（評価方法）
1　訓練当てクイズを行い，本時の課題を確認する。	○　「ダウン」「シット」「ウエイト」「あぶないものをよける」「だんで必ず止まる」「ゴー」の写真を提示し，訓練の順序と内容を押さえる。	
「もうどう犬　なるほどパズル」のピースをつくろう。		
2　形式段落⑬⑭を読み「もうどう犬にふさわしい心構え」を読み取る。	○　「ふさわしい」「心構え」の語句の意味を確認しておく。 ○　本文中の，訓練を通して身に付けなければならない心構えだと思う文章に，サイドラインを引かせる。	
3　なぜ「もうどう犬にふさわしい心構え」を身に付けなければいけないのか話し合う。	○　どの訓練でどのような心構えを身に付けるのか，叙述をもとに，根拠を明確にして発表させる。 ◆　穴あきになっているワークシートを用意し，空欄を埋めるようにさせる。 ○　もし盲導犬が心構えを身に付けなければどうなるか，心構えが必要な理由を具体的に尋ね，思考を深めさせる。 ○　心構えが「動物としての特長を『おさえた』ものであること（②段落）」に気付けるよう，シールを活用して視覚的にも分かりやすくする。	
4　「もうどう犬　なるほどパズル」にまとめる。 （評価問題）	○　読み取ったことや話し合ったことをもとに，大事な言葉や文を選びながら，短くまとめさせる。 ◆　板書してあるキーワードを確認し，つなげながら短くまとめさせる。	○叙述から大事な言葉や文章を見つけながら読み，盲導犬にふさわしい心構えを短い言葉でパズルのピースにまとめている。 【読む】 （ワークシート）
もうどう犬になるためには，訓練を通して，仕事中にはどんなことがあっても動物としての特長をおさえて，目の不自由な人を安全に導くための心がまえを身に付けていくことが必要である。		
5　「もうどう犬　なるほどパズル」をペアで交換し，感想を交流する。	○　叙述から大事な言葉や文を選んで，「盲導犬にふさわしい心構え」を短い言葉でパズルのピースにまとめているか，交流し，友達のよいところを見つけさせる。	